2007年2月改訂（第1版 労働安全衛生法第57条改正に伴うメタノールに関するGHS表示追加等による全面改訂）

鼻・気管支および眼分泌物中の細胞染色液

# エオジノステイン®-トリイ-（ハンセル）

“好酸球1分間染色液”

本品は、鼻・気管支および眼分泌物中の細胞の塗沫染色液であり、染色に要する時間はわずか1分である。染色は非常に安定で長時間に亘って変化しない。

好酸球の顆粒は赤く染まり、対照的に青く染まっている好中球や粘液分泌物と明瞭に区分できる。細菌は青く染まる。

## 【組　成】

| 成　　分 | 含　　量 |
|---|---|
| エオジノステイン※1 | 約0.5　w/w％ |
| メチレンブルー三水和物 | 約0.1　w/w％ |
| メタノール | 約82.6　w/w％ |
| 濃グリセリン | 約16.8　w/w％ |

※1：エオシンYとメチレンブルーからの生成物

## 【染色法】

1. 分泌物を綿棒あるいはピンセットの先でスライドグラスの上に採るか、セロファン紙等に鼻をかませて採取し、軽く薄く引きのばすように塗沫する。
2. 塗沫標本は空気中で放置乾燥するか、メタノールで脱水する（短時間で脱水できる）。
3. 本品で完全に覆い、30～45秒間放置する。塗沫標本の層の厚いものには更に長時間放置する。
4. 蒸留水を数滴添加し、更に30秒間染色する。
5. これを蒸留水で洗浄後、メタノールで洗浄するか、又はメタノール中で数回上下させて洗浄する。

（注）　メタノールでの脱色が過ぎると好中球の原形質がピンク色になり、好酸球との鑑別がしにくくなるが再び染色液をかけて、やり直せばさしつかえない。このコントロールが出来るのも本品の大きな利点である。

6. 検鏡はまず100倍程で観察し、好酸球の存在を見る。好酸球は原形質が鮮明な赤色に染まり容易に確認できる。更に200～400倍で検鏡すれば赤色の顆粒の存在が判る。

### 〔判　定〕

①ほとんどが好酸球であり、時には好酸球の大きな集簇があるもの（図1）。
②好酸球、好中球の双方ともに多数出現しているもの（図2）。
③好酸球はほとんどなく、大部分好中球で占められるもの（図3）。
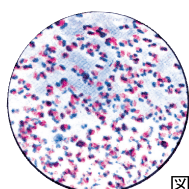
図 1
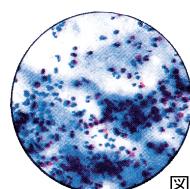
図 2
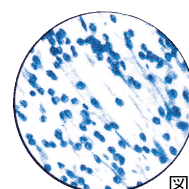
図 3

### 〔染色時の注意〕

染色が満足な結果をえない時は次のことを注意する必要がある。
①含有されるメタノールの蒸発を防ぐためフタをしっかりしめておく。
②分泌物・細胞及び細菌の内容が種々多岐にわたるため、最良の結果をうるためには染色手技にある程度の時間的変更を加えてもよい。
③染色が濃すぎて細胞を同定することができない場合には、メタノールを用いてさらに洗い過剰の染色を除くこともできる。
④好中球の数が圧倒的に多い時は、過剰のメタノールは避ける。これは青色を洗い出し、細胞質がピンク色になるのを防ぐためである。

### 〔その他〕

脱水、洗浄に用いるメタノールの濃度は75v/v%～99v/v%、またエタノールを使用することもある。

## 【取扱い上の注意】

貯　　法：火気を避けて保管のこと。容器を密閉して換気の良い涼しい所で施錠して保管することが望ましい。
使用期限：直接の容器、外箱に表示（3年）

## 【包　装】

10mL

## 【文献請求先】

鳥居薬品株式会社　お客様相談室
〒103-8439　東京都中央区日本橋本町3-4-1
TEL 0120-316-834　FAX 03(5203)7335

本製品のMSDSは下記URLの「医療関係者の皆様へ」のサイトに掲載しております。
http://www.torii.co.jp

製　造
販売元

SD

# メタノールに関する情報※

## 危険

  

### 危険有害性情報

・引火性の高い液体及び蒸気
・飲み込むと有害のおそれ(経口)
・強い眼刺激
・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
・中枢神経系、視覚器、全身毒性の障害
・呼吸器への刺激のおそれ
・眠気又はめまいのおそれ
・長期又は反復暴露による中枢神経系、視覚器の障害

### 〔安全対策〕

・使用前に取扱説明書を入手する。
・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
・取扱い後はよく手を洗う。
・野外又は換気の良い場所でのみ使用する。
・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用する。静電気放電や火花による引火を防止する。
・熱、火花、裸火、高温のものから遠ざける。－禁煙。
・個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避ける。
・保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。
・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない。

### 〔救急処置〕

・火 災 の 場 合 :消火に粉末・二酸化炭素・泡消火器を使用する。
・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。
・皮膚(又は髪)にかかった場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ、取り除く。皮膚を流水、シャワーで洗う。
・吸 入 し た 場 合 :空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
・暴露又は暴露の懸念がある場合:医師の診断、手当を受ける。
・気分が悪い場合:医師の診断、手当を受ける。

### 〔保　　管〕

・容器を密閉して換気の良い涼しい所で施錠して保管する。

### 〔廃　　棄〕

・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。

**危険物　第四類、アルコール類(水溶性)、危険等級Ⅱ　火気厳禁**

※労働安全衛生法第57条改正に伴い、本品に含まれるメタノールについてGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)表示を追加した。